

令和7年度小松市立東陵小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	〈児童にとって安全安心な学級・学校づくりを推進する〉		
	・学期に一回いじめアンケートを実施する。また、同時に「いじめの早期発見チェックシート」も行うことにより、いじめが発見されなかった場合でも教師が児童のSOSに早期に気づくことができるようにする。 ・たて割り活動や児童会活動を通して、目指す児童像の実現を図る。 ・たて割り活動を児童会活動として定着させるため、企画→提案→実行→改善のPDCAサイクルを充実させる。		
特別支援教育	〈どの子も安心して学べるような環境をつくる〉		
	・生徒指導と協力し、児童理解を深め、児童理解の会にて適切な支援について全職員で共有し、組織的な校内支援体制を強化する。 ・外部機関とも連携を取り支援を検討する。		
道徳教育	〈重点目標を意識した道徳教育の推進〉		
	・年に1回以上、道徳授業を公開する。 ・本校重点目標を各学期で確実に実施するよう、年間計画に組み込む。 ・重点目標の教材で行った授業内容を教師間、児童間で交流する。		
読書教育	〈児童の読書の質を高める〉		
	・図書委員が主体となり、イベントを行うことで図書室利用の促進を図ったり、様々なほんのよさを広めたりする。 ・週に1回朝読書の時間を設け、物語を読むことを推進する。		
体力向上	(体幹を強化し、体を正しく使って跳躍力を高める)		
	・体育科の授業で、年間を通じて体幹を鍛える補助運動に全学年取り組む。 ・5月と11月に立ち幅跳びの記録を計測して、検証する。 ・縦割り活動で、継続して8の字跳びに取り組む。		
保健健康教育	〈自分の姿勢に関心を持ち、生活改善をする〉		
	・体育の授業時に良い姿勢の保持や体幹強化につながる体操を行う。 ・6月と11月に各学級で姿勢の保健指導を行い、日常の姿勢の意識向上を図る。 ・こころとからだのチェックリストや、メディアの利用状況調査を行って現状を把握する。 ・学校保健委員会ではメディアをテーマに、正しく付き合うことや自己管理能力の向上を目指す。		
GIGA・情報教育	〈ICTを効果的に活用し、学びの質的向上を図る。〉		
	・年間指導計画やカリキュラムマップを基に、ICTを効果的に活用できる場面や活用方法を考え、活用を推進する。 ・児童が学習用端末を効果的に使用することができるように、月1回の実践紹介タイムを設定する。具体的な実践紹介ができるよう工夫する。 ・タイピングスキル向上のため、朝タイムに練習時間を設定し、学期末にはタイピングテストを行う。 ・ドリルアプリやポータルを積極的に活用し、学びの質的向上を図る。		
家庭・地域社会との連携	〈地域に開かれた学校づくりを推進する〉		
	・家庭、地域に、学校の教育活動について、学校だより、ホームページ、コドモンを活用してこまめな情報発信に努め、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。 ・参観日、学校公開等においてFormsでアンケートをとり、積極的に保護者からの意見を聞く場を設定する。 ・総合的な学習の時間等において、積極的に地域と関わる場面を設定し、地域の方々とふれあったり地域の方々から学んだりする機会を増やす。		

学校関係者評価	
---------	--